

七夕製作 ジグザグペタペタ

作成日：2023年6月22日

対象児：4歳児さくら組

作成者：吉岡愛佳

ねらい：友達と一緒に製作をし、完成した達成感を味わう。



振り返り

製作を通して、ハサミの使い方やのり1回分の量の調節が段々と上手になっている子ども達の姿が見られています。七夕の製作では、ハサミやのり、クレパスを使用して線の上を丁寧に切ったり、切ったものや折ったものをのりで貼り付けたり、顔や模様をクレパスで描くことが多く、子ども達にわかりやすく、「作りたい！」と思えるように、ただ説明をするのではなく「これを切るには何を使う？」と問いかけ、子ども達が考え「はさみ！」と答えるなど、使う物や次に何を作るのかを一緒に考えて製作を行っています。

のり1回分の量も塗る紙の大きさに合わせて、子ども達と一緒にどのくらいの量が必要かを考え、「アリさんくらいの量！」「ダンゴムシくらい！」と生き物などに例えながら調節する姿が見られます。

折り紙をジャバラ折にする時には「ジグザグジグザグ」と言葉にしながらかいたり「ここをこう！」「ここ半分！」と友達同士で教え合う姿が見られました。製作の時だけではなく、普段の生活や活動の中でも友達と協力することや教えてあげる、教えてもらう姿を大切に見守りながら、時には声をかけて関わっていきたいと思います。

(自立心、協同性、思考力の芽生え、言葉による伝え合い)